

日本コミュニケーション学会 2023 年度中部支部大会プログラム

<http://chubu.jca1971.com/index.html>

- 日時： 2023 年 9 月 30 日（土）15:00-17:30（懇親会あり：要事前申込）
- 費用： 参加費無料（会員、非会員どなたでも参加可能です。必ず事前申込して下さい。）
- 実施： 対面・オンラインハイブリッド（要申込）
対面会場：愛知淑徳大学星ヶ丘キャンパス 13B 教室 ([Google Map](#))
オンライン：Zoom
- 備考：（1）対面・オンラインどちらの場合でも [Google Forms](#) で 9 月 29 日（金）17:00 までにお申し込み下さい。懇親会を希望される場合は 9 月 22 日（金）17:00 までにお願ひします。
- （2）活発なディスカッションのため、日高勝之編（2022）『1970 年代文化論』青弓社 (<https://www.seikyusha.co.jp/bd/isbn/9784787235084/>) をご一読の上ご参加ください。
- （3）支部会員の方は運営委員会を **13:00 より対面にて開催**いたします。ご参加ください。

【スケジュール】※時間はすべて日本時間です

15:00-15:05 開会の挨拶

15:05- パネルディスカッション「文化」から考える団塊世代（仮）」

司会：毛利雅子（名古屋市立大学大学院 人間文化研究科）

問題提起者：日高勝之（立命館大学）、藤巻光浩（フェリス学院大学）

レスポナント（討論者）：埴幸枝（成城大学）

<パネル概要>

文化の研究対象は、主に若者や子どもが主流で、中高年の対象化、さらには長いライフコースを見据えた研究焦点化は希薄である。本パネルは、約 1,200 万人が生まれ、その人生が戦後史と重なる団塊世代（1946～1950 年生まれ）の「文化」の研究の可能性を議論する。問題提起者らは、共同研究成果である著書『1970 年代文化論』（青弓社、2022 年）の執筆などを通して、団塊世代の「文化」について、ライフコース、戦後史から考える学術的および社会的重要性を見出した。本パネルは、1960 年代、70 年代に若者として人生を過ごし、現在は後期高齢者である団塊世代の「文化」の過去と現在を考える。

15:05-16:05 問題提起

16:05-16:15 応答

16:15-16:25 休憩

16:25-17:00 ディスカッション

17:00 閉会の挨拶

17:30 懇親会（要申込）